

「南公園におけるグランド整備」の白紙撤回、又は計画変更を求める署名

対象の契約番号: 23E3-003 契約工期: 2011 年 7 月～12 月
対象の工事名: ポートアイランド南公園多目的広場改修工事
対象の契約金額: 82,320,000 円
対象の契約落札者: (株)明和園芸 (TEL:078-751-4636)

神戸市みなと総局・計画課
(担当:谷、谷口 氏)
TEL: 078-322-5720



● 公園の樹を伐らないで…。この公園の森をこわさないで…。

「ポートアイランド南公園」は、1981 年に人工島:ポートアイランドが島開きしたときに、ポートピア '81 の博覧会会場の一部として造られました。それ以来 30 年間、当時のすばらしい庭園計画のまま自然豊かに育ち、人工地盤ながら独自の生態系を育み、現在では野鳥観察スポットとしても有名になるほど緑豊かな森を形勢して、街区公園等とは一線を画し、多くの自然樹形の樹木あふれる都市緑地として、地域住民のみならず、広く市外や海外からも利用者がいる公園です。

ところが近年、まるでこの公園を切り刻むかのように、ムービングウォーク、高架橋、新設道路と矢継ぎ早に税金投入の公共工事がなされてきました。その内、いくつかは既に有用性が無くなったものすらあります。

そんな中、「さらに、公園の真ん中に、緑の森を壊して、野球グラウンドを建設する…」と、突如発表されました。

6 月下旬着工予定で既に測量作業が始まっています。神戸市は空港建設ですら強行した過去もあり、まもなく森に入ってくるブルドーザーは私たちだけでは止められないかも知れません。でも、せめて声をあげようと署名をお願いしています。今、東日本大震災以降、日本も変わりつつあります。原発災害から「福島の子供たちを守る」為に、保護者の方々も巨大な原子力利権に立向い、国や電力会社などに声をあげられています。一部の利権者や政治家が舵取りする時代は終わりました。これからの地域や国をつくるのは、わたしたち市民です。たとえ小さくても、わたしたちは地域から声をあげます。

わたしたちは、南公園へのグランド整備計画を見直し、この森をこわさないように…強く求めます。

- NPO や地元の保育園など、子どもたちによる自然環境をいかした地域活動が行われています。(NPO・NAFA: 森のようちえん)
- 天体観測会や野鳥観察会をはじめとする、緑ゆたかな森という自然環境を活かした活動が行われています。
- 大学研究室等のフィールド調査により、兵庫県レッドデータ掲載の動植物種が確認されています。
- 周辺の地域住民の散歩道でもあり、唯一の大型自然緑地公園として憩いの場となっています。
- そもそも、今までの公園利用ルールで、ゴルフ・野球・サッカーなどを禁止している公園です。

名 前	住 所	ひとことコメント (こんな公園がほしい…夢や希望を。)

※ご家族、お知り合い、学校の保護者会など、できる範囲で結構ですので、広くご協力お願いしてみてください。
※署名用紙が不足の場合は、コピー・印刷してご使用下さい。
※ご記入戴いた個人情報は本署名以外には一切利用致しません。

【 取扱い団体 】

集約日: 2011 年 8 月 22 日(月)・・・第 5 回集約予定

集約先:

震災 10 年記念事業・KOBÉ HYOGO 2005
「緑」の基地プロジェクト・オフィス
〒650-0046 (※プロペラ噴水前の小屋です)
神戸市中央区港島中町 8-6・ポートアイランド南公園
TEL:078-306-6195、 FAX:078-306-6194

【 呼びかけ団体 】

LANDSCAPE CAFÉ
緑のまちづくり研究所
(株)久見瀬 外部空間設計事務所
震災 10 年記念事業: 「緑」の基地プロジェクト・オフィス

twitter: @LANDSCAPE_CAFE http://twitter.com/LANDSCAPE_CAFE 【ハッシュタグ: #SaveTheTrees #Portisland 】

facebook : <http://goo.gl/i6zF3> (ポートアイランド南公園)、blog:http://landscape.at.webry.info/201106/article_2.html

(※裏面参考資料 GBP-031, STM-PISP)

※特筆すべきは、去る 2007 年、同じく、神戸市みなと総局によって公園整備の名の下に「ポートアイランド南公園内道路工事」が施され、集まった 200 余名の署名の他、おおくの子どもたち、公園利用者の反対を押切って、500 本を超える大量の樹木を伐採して緑の森を壊し、8.3ha ある公園を分断してしまいました。それ以降、安全だった公園で遊ぶ子どもたちは常に大型車両が通る危険な道路と隣り合わせになってしまいました。この上、野球場のようなグラウンド工作物を建設してしまうと、野鳥観察会や天体観測会などももう不可能になります。このように緑豊かで自然環境が残る貴重な都市近郊の公園として海外専門誌にも取上げられ、その緑のあふれる自然を活かした多くの地域活動とともに根付いてきている子供たちの笑顔を消さないで下さい。

神戸市みなと総局でこの計画をされた方々にお伺いします。

「あなた方は、毎日この公園を見えていますか・・・？」

「あなた方は、毎日この公園を利用している地域住民の声を、ひとつでも聞きましたか・・・？」

「あなた方は、毎日この公園で遊ぶ子どもたちが、楽しみにしている魔女の家や、かいじゅうたちのいるところをご存知ですか・・・？」

「あなた方は、四季折々、桜、紅葉、大きな落羽生の冬姿、美しいこの公園の樹木を見えていますか・・・？ そんな美しい森を壊して平気ですか・・・？」

誕生から 30 年、この人工島には一部の商用教会等を除いて、神社・仏閣・教会・お地藏さんなるものは、ひとつもありません。

田園風景でなくとも、わたしたちは一般的に街並みの中のそういう変わらぬ普遍的なものを、故郷の原風景として記憶に留めて生きています。

だからこそ、原発事故のようにとてつもない災害であっても、なかなか故郷を離れられないのです。神戸人ならわかるはずです。

この人工島で生まれて、保育園・幼稚園・小学校・中学校・・・そして社会人となっていったネイティブな島民が、30 歳を筆頭に存在しているのです。

移住してきた大人の島民たちにとっては、きっと実際にも、もしくは心の中にも、いわゆる故郷の原風景が他にあることでしょう。

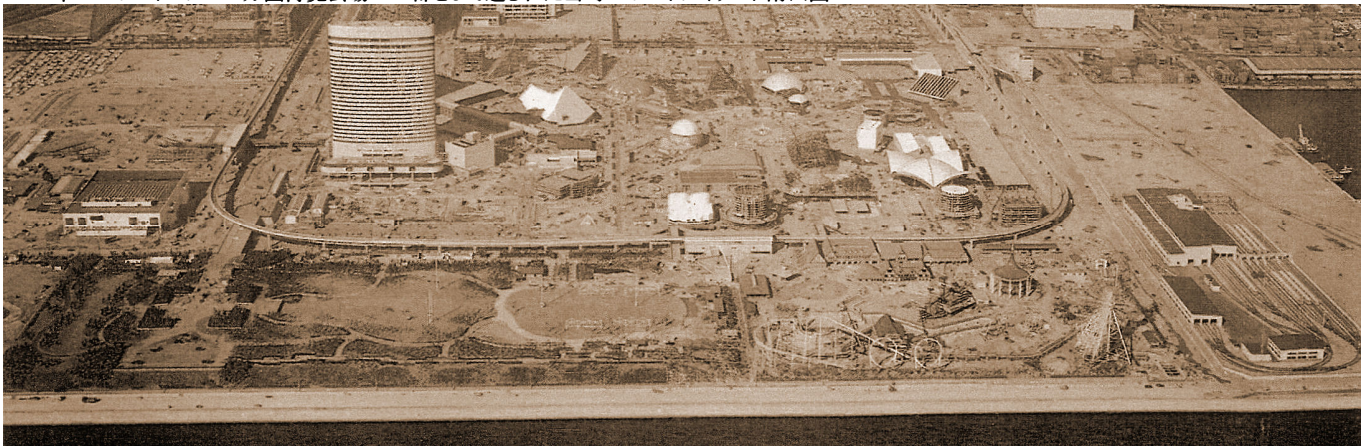
が、しかし、ここで生まれた子どもたちにとっては、この人工地盤の街並みが故郷の原風景なのです。その原風景がどんどん壊されて、変わっていく、それがどんな気持ちか、考えたことがありますか？ ポートピアランドも跡形もなく消え去り、居住区の建造物を除けば、残っているランドマークは唯一、ポートピアホテルとなっていますが、かつての子どもたちのなかに原風景として記憶に残っているのは、隣接する南公園でもあるのです。かつて人工島の最南端であったこの公園に、今もプロペラの噴水がありますが、かつてここは「海のみえる丘公園」という別名の銘板もありました。当時、正月元旦には市外県外からも多くの人々が、水平線から昇る初日の出を見に来たものです。第 2 期埋立工事により、もはや海もみえなくなりましたが、この南公園という、当時から変わらず、普遍的で、緑豊かな森は、まるで神社やお寺の境内のように、かつての子どもたちにとっては、故郷の原風景になっているのです。

「あなたが、森を壊してしまうということは、ここで生まれ育った・・・かつての子どもたちの記憶の記録を消去してしまうことなのです。」

「それが、どんなに悲しいことか、考えたことがありますか・・・？ あなた方にも、きっと故郷の原風景があるはずです。」

「野球場やグラウンド建設が・・・どうしても必要なのであれば、他にいくらでも適地があるのはご存知のはずです。この人工島・ポートアイランドの中にでも。」

1981 年：ポートピア '81 万国博覧会場の一部として造られた当時のポートアイランド南公園



1997～2006 年：ムービングウォーク建設により分断・消滅したポートアイランド南公園の森のようす (Google Map)

